

TOABO

第**23**期 株主通信

令和6年1月1日から令和6年6月30日まで

株式会社トーア紡コーポレーション

証券コード 3204



暮らしをつむぐ ミライへつなぐ

人々そして暮らしの「アメニティ=快適」を追求し
「暮らしと社会の明日を紡ぐ」企業グループとして、
持続的な成長と企業価値の向上に尽力していきます。

第23期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第23期中間連結会計期間（令和6年1月1日から令和6年6月30日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境に改善の動きもあり、緩やかな回復基調にあります。一方で、不安定な国際情勢による景気減速リスクに加え、原材料およびエネルギー価格の高止まりや為替の動向など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は8,769百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は265百万円（前年同期比26.2%減）、経常利益は434百万円（前年同期比13.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は260百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

なお、前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

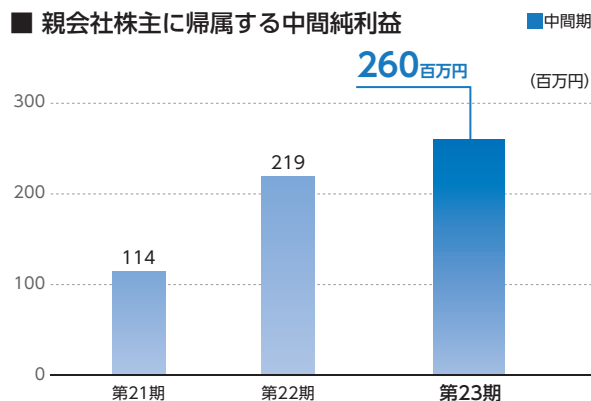
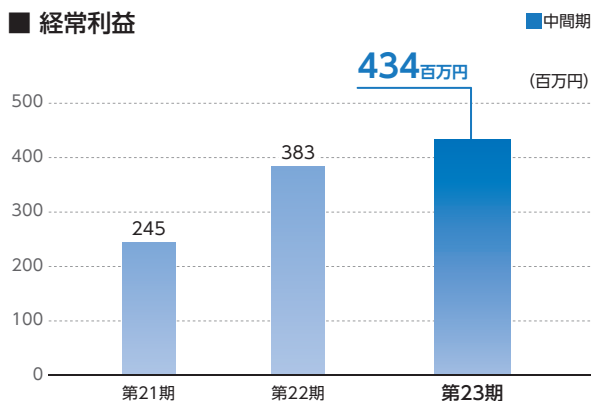
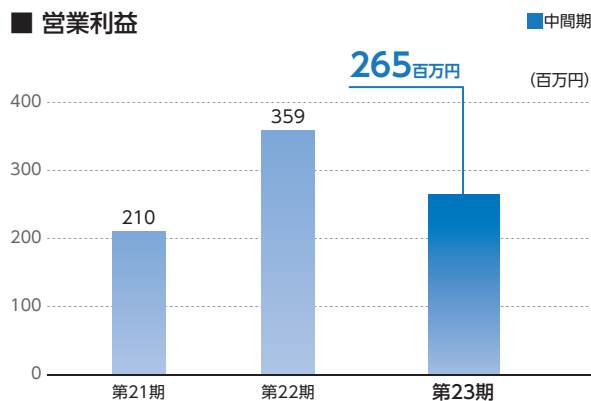
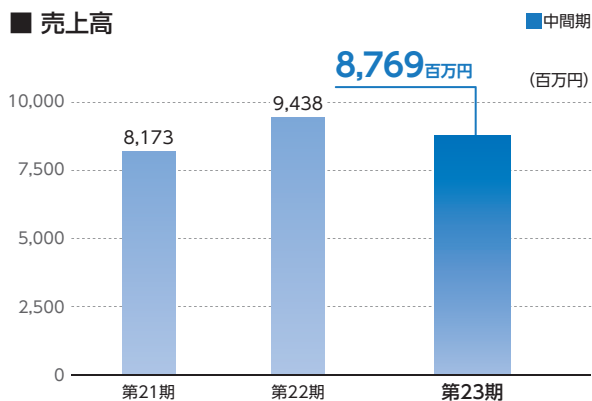
代表取締役社長 長 井 渡

■ 令和6年12月期 第2四半期（中間期）連結決算概要

（百万円）

	第2四半期（中間期）累計		前年同期比 増減率
	令和5年12月期	令和6年12月期	
売上高	9,438	8,769	△7.1%
営業利益	359	265	△26.2%
営業利益率	3.8%	3.0%	△0.8% ※
経常利益	383	434	13.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	219	260	18.6%

財務ハイライト (連結)

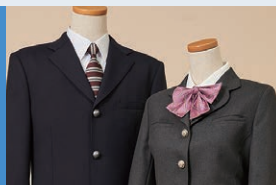


令和6年12月期 業績予想概要

(百万円)

	実績	中期経営計画	予想
	令和5年12月期	令和6年12月期	令和6年12月期
売上高	19,042	17,000	18,300
営業利益	742	630	650
営業利益率	3.9%	3.7%	3.6%
経常利益	811	550	600
親会社株主に帰属する当期純利益	573	330	350

衣料事業



売上高	3,330百万円	△11.4%
営業利益	167百万円	△31.2%
営業利益率	5.0%	△1.5ポイント



業績概要

毛糸部門

- ▶ 昨秋の残量の影響による前売りの不振を受けて、特にセーター用ニット糸の受注が伸び悩み減収

ユニフォーム部門

- ▶ スクール制服向け素材は、大幅なコスト増により損益は悪化するも、モデルチェンジの流れが継続しており増収
- ▶ 官公庁制服向けは、別注案件の不振に加えて納入時期の調整もあり減収
- ▶ 一般企業向け制服素材は、カタログ案件が失速したため減収

テキスタイル部門

- ▶ 郊外店アパレルの在庫調整と円安の影響による使用素材の非ウール化への加速から減収

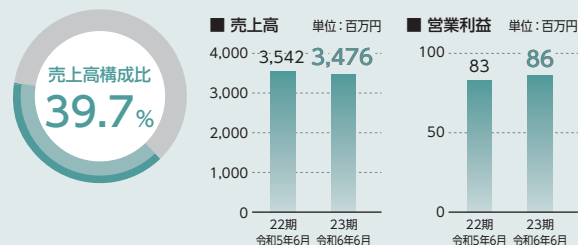
毛糸製造販売を主体とする中国現地法人

- ▶ 中国内販が低調で減収

インテリア 産業資材事業



売上高	3,476百万円	△1.9%
営業利益	86百万円	+3.8%
営業利益率	2.5%	+0.1ポイント



業績概要

自動車内装材部門

- ▶ メーカーの認証試験の不正による生産停止の影響を受けて、出荷数量が減少したことに加え、材料の仕入値が下がらず減収減益

ポリプロファイバー部門

- ▶ カーペット用原綿は、展示会やイベント需要が増え増収増益

カーペット部門

- ▶ 需要が落ち着き売上は減ったものの、原材料、電力、燃料の価格転嫁が進み減収増益

特殊繊維部門

- ▶ 金属繊維は減産するも、カーボン繊維が好調で増産体制に入り増収増益

不織布部門

- ▶ 土木、緑化、防草向けの受注が減るも、寝装向けは順調に推移し、増収増益

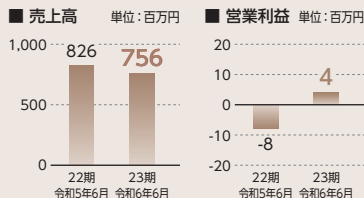
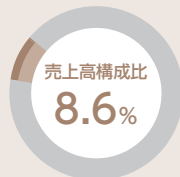
自動車内装材製造販売の中国現地法人

- ▶ 日系自動車の減産が昨年より続く
- ▶ 中国ローカルのEV車メーカーによる在庫調整の影響を受け減収

エレクトロニクス 事業



売上高	756百万円	△8.5%
営業利益	4百万円	前年同期は営業損失 8百万円
営業利益率	0.6%	前年同期は利益なし



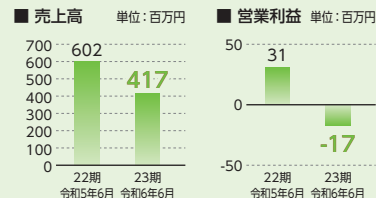
業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーは、得意先での在庫調整が完了して増産体制になり、受注回復が鮮明に
- ▶ パワー半導体の販売は、産業機器分野、家電分野での回復が遅れており、引き続き受注が低迷

ファインケミカル 事業



売上高	417百万円	△30.6%
営業損失	17百万円	前年同期は営業利益 31百万円
営業利益率	-	前年同期は営業利益率 5.2%



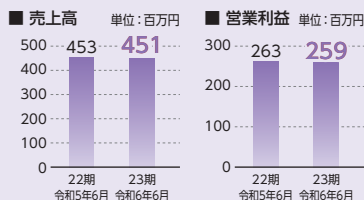
業績概要

- ▶ 電子材料分野では、デジタル機器や半導体向けの需要が未だ力強さを欠き減収減益だが、第3四半期からの本格的な復調が見込まれる
- ▶ ジェネリック医薬分野は、昨年に比べ緩やかに受注が回復するも、電子材料の落ち込みを補うまでには至らず

不動産事業



売上高	451百万円	△0.3%
営業利益	259百万円	△1.6%
営業利益率	57.5%	△0.7ポイント



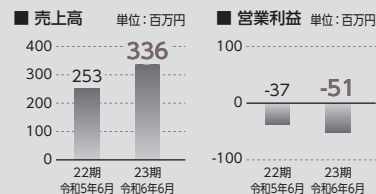
業績概要

- ▶ 一部テナントの撤退の影響と販売費の増加により減収減益

その他の事業



売上高	336百万円	+32.6%
営業損失	51百万円	前年同期は 営業損失37百万円
営業利益率	-	前年同期も利益なし



業績概要

自動車教習事業

- ▶ 大学生に向けた営業活動に注力するも、低調な入校状況で推移し減収

ヘルスケア事業

- ▶ ムサシノ製薬では、主力商品であるフタアミンクリームの上売が低調に推移し減益
- ▶ 第2四半期より、約2,000社の薬店を対象にBtoBオンラインショップを開設し、タイムリーにお客様にキャンペーン情報などが届けられるよう取り組む

● 環境にやさしい企業活動

13 気候変動に
具体的な対策を



令和5年度エネルギー管理優良事業者等
中部地方電気使用合理化委員会 委員長表彰受賞

トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場

2024年2月、エネルギー使用合理化への取り組み（ガス焼き高効率ボイラーへの更新）が評価され、エネルギー管理優良事業者等として中部地方電気使用合理化委員会 委員長表彰を受賞しました。

改善項目 **ガス焼き高効率ボイラーへの更新**

● 更新後の効果 → 省エネルギー化、CO₂削減

エネルギー使用量 (原油換算量)	CO ₂ 排出量
16.5%削減	38.7%削減 (ともに1年あたり)

● 導入前の課題

- ▶ 従来の炉筒煙管ボイラー自体の効率が悪い ▶ 大型であるため、負荷に応じた省エネルギー運転が困難
- ▶ 主要設備までの配管距離が長い ▶ CO₂排出量を削減したい ▶ 運転操作が難しい

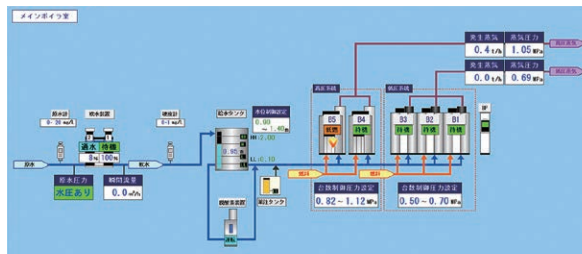


● 改善の内容

- ▶ ボイラー室の場所を変更
→ 配管ルートを短縮
- ▶ 燃料を重油から都市ガスに変更
→ CO₂排出量を削減
- ▶ ボイラーを貫流ボイラーに更新
→ 負荷状況に応じて運転パターンを変更する省エネルギー運転が可能に
- ▶ 稼働状況の遠隔監視システムを導入、活用
→ 運転操作の難しさを解消、運転パターンの最適化
各現場での必要圧力の見直し、送気系統の見直し など



新ボイラー室



遠隔監視システム

● 循環型経済 (Circular Economy) への貢献

12 つくる責任
つかう責任



炭素繊維のリサイクル

炭素繊維 (CF) は軽量で高強度であることから、繊維強化プラスチック (CFRP) の材料として使用されています。

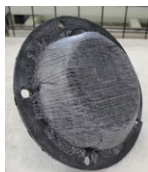
CO₂削減を目的として、使用量は今後ますます増えていくといわれています。しかし、生産時に多くのCO₂を排出することも知られています。

我々は紡績技術を用い、短繊維であるリサイクルCFを糸にすることで再利用の可能性を広げ、リサイクルの循環に貢献することを目的として取り組みをスタートしました。

岐阜大学、三重大学、三重工業研究所との共同研究として環境再生保全機構 (ERCA) の令和2年度環境研究総合推進費委託研究、また、経済産業省の令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業) として採択されています。



リサイクルCFの糸



成形品



リサイクラーが取り出したCFを利用



● 環境配慮の仕組みづくり

GREEN WOOL

VALUE CHAIN

～CSR、環境負荷低減と経済性の実現～

TOABO SOTOH



尾州発の新たな環境基準の確立を目指して

東亜紡織株式会社と株式会社ソーは、SDGsの達成に向けて『GREEN WOOLバリューチェーン』を立ち上げ、『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションとして、羊毛業界のグローバルスタンダードの確立を目指し、構築・運用を進めております。

現在、尾州の協力工場を中心に加盟が進んでおり、ケケン試験認証センターの支援を受けながらCSRの評価を実施するとともに、各サプライチェーンの使用エネルギー等を調査し、CO₂排出量でベースとなる基準を策定し、目標を掲げられるように取り組んでおります。

2024年度取り組み状況

- ▶ CO₂排出量を中心に環境負荷INDEXを作成中
- ▶ ブランド化の推進中 (アパレルへの提案を準備中)
- ▶ 環境配慮取組アイコンを作成
- ▶ サプライチェーンではクリーンエネルギーへの変更を推進



● 会社概要 (令和6年6月30日現在)

会社名	株式会社トーア紡コーポレーション
設立年月日	平成15年6月12日(創業 大正11年2月)
資本金	3,940,097,500円
主要な事業内容	電子機器向け部品、ファインケミカル、繊維製品の製造販売、ヘルスケア商品、化粧品の販売および不動産賃貸、子会社の経営管理
事業所	本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー18階 東京支店 東京都中央区日本橋人形町一丁目2番5号 ERVIC人形町2階・7階 大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
従業員数	67名
ホームページ	URL https://www.toabo.co.jp/

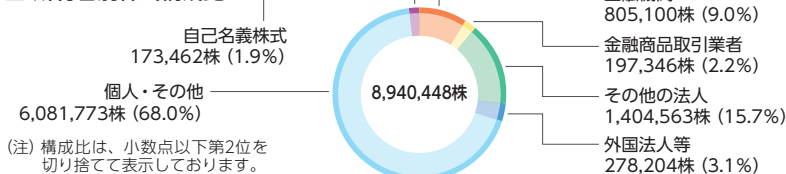
● 役員 (令和6年6月30日現在)

代表取締役社長	長井 渡
取締役	水森 吉紀
取締役	久保 徹
取締役	戸口 雄吾
取締役	戸川 崇光
取締役	堀口 泰夫
取締役	坂田 暢生
社外取締役	玉下 信
社外取締役	高島 志郎
取締役(常勤監査等委員)	近江 学
社外取締役(監査等委員)	伊藤 久弥
社外取締役(監査等委員)	辻村 美樹

● 株式の状況 (令和6年6月30日現在)

発行可能株式総数	14,300,000株
発行済株式総数 (自己名義株式173,462株を含む。)	8,940,448株
株主数	6,312名

■ 所有者別株式構成比



● 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
基準日	毎年12月31日

株主名簿管理人
特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

- 手続におけるご注意
- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

単元株式数 100株

公告方法 電子公告の方法
公告掲載URL <https://www.toabo.co.jp/>
電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待について

株主の皆様へ日頃のご支援とご愛顧に感謝するとともに、株主優待制度を通じて当社グループに対するご理解をより深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくことを目的として、令和5年度より株主優待制度を新設いたしました。

本年度も昨年度と同様、令和6年12月31日時点で、同一の株主番号で当社株主名簿に1年以上継続して記載または記録されている当社株式1,000株(10単元)以上を保有されている株主様を対象として株主優待を実施予定です。

株式会社トーア紡コーポレーション

〒540-6018 大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー 18階
TEL 06-7178-1151 URL <https://www.toabo.co.jp/>



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。